

第 79 回日本学校農業クラブ全国大会 令和 10 年度(2028 年度)北海道大会
【公開競技】家畜審査競技会（乳用牛の部・肉用牛の部）実施基準（案）

家畜審査競技会は、教科の学習や学校農業クラブ活動をとおして得た家畜審査技術の成果を発表するとともに、優秀な後継者を育成し畜産業界の振興に資することを目的とする。

1 競技内容

対象となる家畜の審査標準を元に、指定された供試牛に対して現状審査で相対評価を行い、優れた家畜から順位をつけていく。また、家畜の各部位ごとの特徴についても相対評価を行い、順位をつける。

2 選手

選手は各都道府県連盟が選出したクラブ員とし、各 1 名までとする。

3 審査長及び審査員

- (1) 審査長は競技に対する指導・講評ならびに模範解答の説明を出場選手に対して行い、審査員はこれを補佐する。
- (2) 審査員は、競技に用いる供試牛および問題を準備・作成するとともに競技終了後、出場選手の採点作業にあたる。

4 表彰

入賞者に対して表彰を行う。

5 審査基準

ホルスタイン種雌牛審査標準【平成 19 年 4 月 1 日改正】（日本ホルスタイン登録協会）による
黒毛和種種牛審査標準【平成 24 年 4 月 1 日施行】（全国和牛登録協会）による

6 競技実施方法

【乳用牛の部】

- (1) 審査基準 ホルスタイン種雌牛審査標準（日本ホルスタイン登録協会）による【別紙参照】
- (2) 競技内容

ア 未経産牛および経産牛の体型審査を行う。

イ 競技に用いる供試牛の種類・品種は次のとおりとする。

供試牛の種類	品 種	競技前に提示する情報
未経産牛及び 経産牛	ホルスタイン種	記号（A・B・C・D）・生年月日・産次 最終分娩年月日・体高・胸囲・尻長・腰角幅・体重

- (3) 競技方法

ア 競技は個人競技とし選手全員が「未経産牛の審査」および「経産牛の審査」の競技を行う。

イ 審査する家畜の区分、頭数、月齢、競技時間は次のとおりとする。

イ 審査する供試牛の区分、頭数、月齢、競技時間は次のとおりとする。

区 分	頭 数	月 齢	競技時間
未 経 産 牛	4 頭	10～12 ヲ月	10 分
経 産 牛	4 頭	36～48 ヲ月	20 分

(4) 競技要領

ア 競技は未經産牛の部の審査を先に行う。審査終了後、経産牛の部に移る。

イ 供試牛の「競技前に提示する情報」は、審査競技会場に掲示する。

ウ 出場選手は、競技前に班編成を行い、競技役員から競技のための順路と競技方法の説明を受ける。

エ 出場選手は、解答用紙・用具配布所にて競技役員より問題・解答用紙、用具（クリップボード）を受け取る。

オ 競技は審査長の指示で開始し、競技の進行はすべて競技役員の指示で行う。

カ 競技終了後、選手は解答用紙・用具回収所で問題・解答用紙と用具（クリップボード）を競技役員に渡す。

(5) 解答の方法

ア 競技の出題は下記3問とし、内訳は「未經産牛審査」1問、「経産牛審査」2問とする。

問題1	【未經産牛審査】 供試牛4頭について審査し、相対評価（比較して）を行い、もっとも良いと思われるものから順位をつけ、個畜の記号で記入しなさい。
問題2	【経産牛審査】 出題された部位（審査員より出題される項目は、3部位とする）について供試牛4頭について審査し、相対評価（比較して）を行い、もっとも良いと思われるものから順位をつけ、個畜の記号で記入しなさい。
問題3	【経産牛審査】 供試牛4頭について審査し、相対評価（比較して）を行い、もっとも良いと思われるものから順位をつけ、個畜の記号で記入しなさい。

イ 配点は140点満点とし、各問の配点は次のとおりとする。

問題1 未經産牛の相対評価の順位をつけるもの 40点

問題2 経産牛における各部位の相対評価の順位をつけるもの 60点（20点×3問）

問題3 経産牛の相対評価の順位をつけるもの 40点

合 計 140点

ウ 採点は、すべて得点早見表に準じて作成された「家畜審査競技専用採点ソフト」を使用し
て行う。手作業での採点は抽出者のみ行う。

【肉用牛の部】

(1) 審査基準 黒毛和種種牛審査標準（全国和牛登録協会）による

(2) 競技内容

ア 若雌の体型審査を行う。

イ 競技に用いる供試牛の種類・品種は次のとおりとする。

供試牛の種類	品 種	競技前に提示する情報
若雌	黒毛和種	記号（A・B・C・D）・生年月日・月齢・体高 胸囲・胸深・尻長・かん幅・体重

(3) 競技方法

ア 競技は個人競技とし選手全員が「若雌の審査」の競技を行う。

イ 審査する家畜の区分、頭数、月齢、競技時間は次のとおりとする。

区 分	頭 数	月 齢	競技時間
若雌の1	4 頭	14～17ヵ月	10分
若雌の2	4 頭	17～20ヵ月	20分

(4) 競技要領

ア 競技は若雌の1の部の審査を先に行う。審査終了後、若雌の2の部に移る。

イ 供試牛の「競技前に提示する情報」は、審査競技会場に掲示する。

ウ 出場選手は、競技前に班編成を行い、競技役員から競技のための順路と競技方法の説明を受ける。

エ 出場選手は、解答用紙・用具配布所にて競技役員より問題・解答用紙、発育曲線用紙、用具（クリップボード）を受け取る。

オ 競技は実施委員長の指示で開始し、競技の進行はすべて競技役員の指示で行う。

カ 競技終了後、選手は解答用紙・用具回収所で問題・解答用紙と用具（クリップボード）を競技役員に渡す。

(5) 解答の方法

ア 競技の出題は下記3問とし、内訳は「若雌の1審査」1問、「若雌の2審査」2問とする。

問題1	【若雌の1審査】 供試牛4頭について審査し、相対評価（比較して）を行い、もっとも良いと思われるものから順位をつけ、個畜の記号で記入しなさい。
問題2	【若雌の2審査】 出題された部位（審査員より出題される項目は、3部位とする）について供試牛4頭について審査し、相対評価（比較して）を行い、もっとも良いと思われるものから順位をつけ、個畜の記号で記入しなさい。
問題3	【若雌の2審査】 供試牛4頭について審査し、相対評価（比較して）を行い、もっとも良いと思われるものから順位をつけ、個畜の記号で記入しなさい。

イ 配点は140点満点とし、各問の配点は次のとおりとする。

問題1 若雌の1の相対評価の順位をつけるもの 40点

問題2 若雌の2における各部位の相対評価の順位をつけるもの 60点(20点×3問)

問題3 若雌の2の相対評価の順位をつけるもの 40点

ウ 採点は、すべて得点早見表に準じて作成された「家畜審査競技専用採点ソフト」を使用して行う。手作業での採点は抽出者のみ行う。

7 一般注意事項

ア 競技班編成は大会事務局で行う。

イ 出場選手の参加服装は、各校使用の実習服と大会事務局が用意するゼッケン、ブーツカバーを着用する。よって、長靴は準備しなくてもよい。競技に入る前に防疫テントを通過することで、電動噴霧器による全身消毒と、消毒マット、手のアルコール消毒を行う。(防疫対策については全国大会家畜審査競技会防疫マニュアルを作成し、それに準じて行う。)

ウ 問題・解答用紙、用具(クリップボード)は、大会事務局が準備する。ただし、出場選手は各自筆記用具を準備する。

エ 競技実施中は、選手と競技役員以外は競技会場に立ち入ることはできない。また、選手は競技役員の指示がない限り、競技会場を離れることはできない。

オ 出場選手は競技中、私語をしてはならない。

カ 競技実施中は、何人も選手に対して指導・助言を与えることはできない。

キ 選手は競技開始後、いかなる場合にも交代することはできない。

ク スマートフォンやスマートウォッチ等の通信機器の持ち込みは禁止する。

ケ 出場選手は大会事務局が定める防疫処置を受けなければならない。